

教育・研究などへの取組状況(令和6年度)

総合工学システム学科	系・コース
	一般科目
職階	氏名
准教授	中山良子

項目	取組状況
教 育	<p>◆令和6年度担当科目 「ダイバーシティと人権」/「社会2」(歴史総合)/「社会3」(公共)</p> <p>◆担当科目の取り組み状況(工夫・改善した点) 「ダイバーシティと人権」ではワークショップを活用、またその際、作業を共有することなどを通じ、活発な意見交換が促された。 「社会2」では動画を活用し、歴史を身近に感じてもらった。 「社会3」では図書館と連携し、社会に対する自らの興味を深めてもらった。 「社会2」「社会3」では大福帳を用い学生の疑問を収集、授業で応答した。</p> <p>◆特記すべき教育方法の実践例 ・大阪公立大学工業高等専門学校「ふらっと高専」講演会 2024年5月15日 ・社会科・人権教育推進室コラボ企画「裁判所に行ってみよう！」2025年3月25日(人権教育推進室と連携し、自由参加企画として大阪地方・高等裁判所への傍聴を企画・実施)</p>
研 究	<p>◆研究テーマ 戦後日本における「青少年」規範の構築とセクシュアリティ</p> <p>◆学外発表実績 ・「戦後日本における〈青少年〉観の形成—司法・中央青少年問題協議会・警察に着目して」2024年9月13日第76回日本教育社会学会(信州大学)</p> <p>◆論文 中山良子「「太陽族」の社会問題化から考える〈青少年〉のセクシュアリティと統治—新警察法(1954年)施行後の「少年警察」の展開と東京母の会連合会の動きを踏まえて」『女性学年報』第45巻 2024年</p> <p>◆科研費 ・研究活動スタート支援(2024-2025)「警察史を踏まえた〈青少年〉概念形成の分析—警察及び中央青少年問題協議会に着目して」代表研究者 ・基盤研究(C)(2023-2026)「高度経済成長期における青春をめぐるイメージとその受容に関する歴史社会学的研究」研究協力者</p>
社会貢献	なし

<記入上の注意>

教育:該当年度の担当科目,担当科目の取組状況(工夫・改善した点)などを記載。

研究:該当年度の研究テーマ,学外発表実績,外部資金獲得状況,共同研究などを記載

社会貢献:該当年度の公開授業,出前授業,学協会活動などを記載

教育・研究などへの取組状況(令和5年度)

総合工学システム学科	系・コース
	一般科目
職階	氏名
准教授	中山良子

項目	取組状況
教 育	<p>◆令和5年度担当科目 大阪公立大学工業高等専門学校「社会2」 (他大学等:甲南女子大学「女性の歴史」、京都芸術大学通信学部「文化研究Ⅰ」、京都文教大学「プロジェクト科目 1A セクシュアリティ・ジェンダー」「プロジェクト科目1B セクシュアリティ・ジェンダー」、「人権論」)</p> <p>◆担当科目の取り組み状況(工夫・改善した点) 「社会2」において、学生の理解が深まるよう動画や図版を多数使用した。またリアクションペーパー(大福帳)を導入し、学生とコメントのやり取りを行うことで、学生の知的好奇心を活かす授業運営に努めた。</p> <p>◆特記すべき教育方法の実践例 大阪公立大学工業高等専門学校「ふらっと高専」講演会 2023年11月15日 大阪公立大学工業高等専門学校「ふらっと高専」講演会 2024年2月16日</p>
研 究	<p>◆研究テーマ 戦後日本における「青少年」規範の形成</p> <p>◆学外発表実績 「「純愛コンビ」が生まれた時代—統治と表象が生み出す「青少年」像」日本女性学研究会・近代女性史分科会2023年11月18日 「戦後「青少年」概念の形成—「青少年問題」政策の展開から」日本女性学研究会・近代女性史分科会、2023年7月1日</p> <p>◆科研費 2023-2026年度、日本学術振興会科学研究費基盤研究(C)「高度経済成長期における青春をめぐるイメージとその受容に関する歴史社会学的研究」研究協力者</p>
社会貢献	とくになし

<記入上の注意>

教育:該当年度の担当科目,担当科目の取組状況(工夫・改善した点)などを記載.

研究:該当年度の研究テーマ,学外発表実績,外部資金獲得状況,共同研究などを記載

社会貢献:該当年度の公開授業,出前授業,学協会活動などを記載

教育・研究などへの取組状況(令和4年度)

総合工学システム学科	系・コース
	一般科目
職階	氏名
准教授	中山良子

項目	取組状況
教 育	<p>◆令和4年度担当科目 大阪公立大学工業高等専門学校「心理学」 (他大学等:甲南女子大学「女性の歴史」、京都芸術大学通信学部「文化研究 I」、京都文教大学「プロジェクト科目 1A ジェンダー・セクシュアリティ」「プロジェクト科目 1B ジェンダー・セクシュアリティ」)</p> <p>◆担当科目の取組み状況(工夫・改善した点) 「心理学」において、授業でとりあげた用語に関する、追加の解説プリントを作成した。また動画を活用し、学生の理解を促進するよう努めた。 リアクションペーパー(大福帳)を導入し、毎授業で学生とのコメントのやり取りをおこなった。これにより学生の授業に対する疑問点の解消につながった。</p> <p>◆特記すべき教育方法の実践例 大阪公立大学工業高等専門学校「ふらっと高専」講演会 2022年11月16日</p>
研 究	<p>◆研究テーマ 「青少年」に対する規範としてのセクシュアリティ</p> <p>◆学外発表実績 「50・60年代の青少年に対する統治と性規範」日本女性学研究会・近代女性史分科会 2023年3月18日</p>
社会貢献	特になし

<記入上の注意>

教育:該当年度の担当科目,担当科目の取組状況(工夫・改善した点)などを記載.

研究:該当年度の研究テーマ,学外発表実績,外部資金獲得状況,共同研究などを記載

社会貢献:該当年度の公開授業,出前授業,学協会活動などを記載